

いちはら福祉ネットの は 一 と 通 信

2021. 1. 25発行

VOL.57

発行者 中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット(千葉県委託事業)
〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-15
TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225
ホームページ http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/
メールアドレス ichihara_f.net@bh.wakwak.com



年4回発行(4,000部)

住みよい地域を目指して ～地域福祉計画を考える～

はじめに

皆さん『地域共生社会』という言葉聞いたことがあるでしょうか？

これまでの制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を越えて、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を地域共生社会といいます。(図1)

現在国では、地域共生社会の実現に向けさまざまな法律の改正を行っています。市原市においては、市原市地域福祉計画の見直しが行われており、『地域共生社会推進プラン』として地域共生社会の実現に向けたさまざまな施策が計画に盛り込まれています。

そこで、今回は一と通信では、地域共生社会の実現に向けた『地域福祉計画』を取り上げ、今後の地域福祉を考える機会にしたいと考えています。



(図1) 令和2年度地域共生社会の実現に向けた市町村における包括的な支援体制の整備に関する全国担当者会議 資料 (出典：厚生労働省)

地域福祉計画ってなんだろう？

では、地域福祉計画とはどういったものなのでしょうか？

地域福祉計画は、社会福祉法に規定されている行政計画で、市町村が策定する『地域福祉計画』と都道府県が策定する『地域福祉支援計画』があります。地域における高齢者の福祉、障がい者の福祉、児童の福祉その他の福祉の各分野における共通的な事項を記載する、福祉の上位計画として位置付けられています。

計画の内容としては、地域福祉推進の主体である地域住民等の参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容や量・体制等について、多様な関係機関や専門職も含めて協議の上目標を設定し、計画的に整備していくものとされています。

市原市地域共生社会推進プランについて

ここからは、市原市の地域福祉計画について触れていきたいと思ひます。

今年度、市原市はこれまでの地域福祉計画を地域共生社会に向けた施策を推進する計画として全面的な

改訂を行っています。それが、『市原市地域共生社会推進プラン』です。

計画の期間は令和3年～令和8年で、年齢・性別・障がいの有無・国籍などにかかわらず、『互いを尊重し、互いに支え合い、誰もが自分らしく活躍して暮らすことのできるまちの実現』を基本理念としています。

今回示された計画の骨子では新たに(図2)の政策が掲げられています。

具体的な取り組みとしては、世代を超えて多様な市民が交流できる場づくりや、相談を丸ごと受け止める福祉総合相談センターの整備、ひきこもり支援ネットワークの構築、居住や就労に困難を抱える方への支援など、これまで地域の中で課題とされてきたことや、支援の手が届きにくかった方への内容が盛り込まれています。

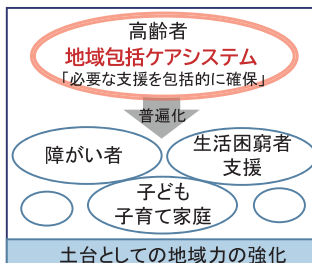
それぞれの制度や分野、行政や民間といった枠組みや垣根を越えて、お互いが連携しながら進めていく、福祉によりまちづくりを進める方向が示されています。

4 新たな政策展開

誰ひとり取り残さない「地域共生社会」の実現

互いを尊重し、互いに支え合い、誰もが自分らしく活躍して暮らすことのできるまちの実現を目指します。

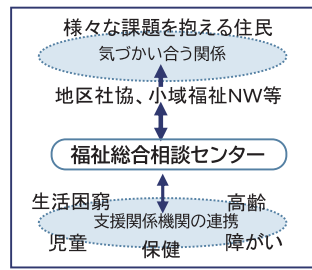
- ・ 高齢者分野の地域包括ケアの概念を拡げ、全世代・全対象型の地域包括ケアシステムへと深化します。
- ・ 人と人との新たなつながりを促すことで、地域社会が活性化し、市民主体の地域力を引き出します。
- ・ 多様な主体の連携を強化することで、まちの魅力を高め、地域の持続的発展を目指します。



包括的な支援体制の整備

地域の支え合いと公的支援の連動により、課題を抱える人を孤立させず、必要な支援に繋がる仕組みを構築します。

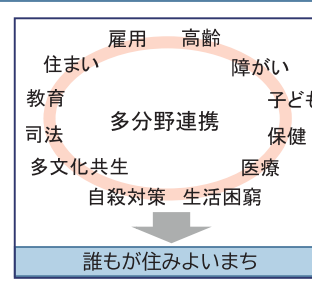
- ・ 多世代交流をさらに進め、困ったときにSOSが言えるつながり、気づかい合う関係づくりを進めます。
- ・ 地域の中で相談を丸ごと受け止める窓口や、その解決に向けて多機関調整を行う機関を設置します。
- ・ 制度の対象外、基準外など、制度の狭間にある課題に対応するための新たな仕組みを構築します。



多様な分野との連携

課題解決に向けて、庁内の関係部署、庁外の関係機関と分野横断的に連携し、誰もが住みよいまちの実現を目指します。

- ・ 居住、社会参加等の福祉課題を抱える方の支援にあたり、空き家等の増加、担い手の不足等の地域課題にも取り組むことで、暮らしと地域社会の双方を支えます。
- ・ ひきこもりなどの支援関係者間の連携を進めます。
- ・ 福祉分野を超えた全庁的な取組を推進します。



(補足) 上図は例示であり、その他の分野が含まれないということではありません。

SDGsの目標達成に向けた取組

誰ひとりとして取り残さない社会の実現を目指します。

- ・ 貧困、加齢、傷病、孤立など、生きていけば誰の身にも起こり得る普遍的なリスクについて、包括的支援体制の整備等を通じて、いつ誰がそうなるも困ることなく暮らせるような地域づくりを進めます。
- ・ 担い手の不足する産業分野に困窮者等をマッチングする等、分野を超えた政策を進め、包摂的成長を目指します。



まとめ

(図2)市原市地域共生社会推進プラン 骨子

今後我が国の地域福祉は、世代や分野を超えてつながっていく地域共生社会を目指す動きが大きくなっていくと感じています。ひきこもり状態にある方や居場所のない方など、これまで地域の中で支援が届きにくかった方や、さまざまな困りごとを抱えた方々も活躍できる地域社会を作っていくには、行政や専門機関の“ちから”だけでなく、地域に生活するたくさんの人の“ちから”が必要になります。今回ご紹介した市原市の地域共生社会推進プランは、2月に市民の皆さんなどへの意見公募(パブリックコメント)が行われることとなっています。地域でどんなことができるのか考える機会にしてみませんか?

ご家庭に眠っている 食品大募集！

いちほら生活相談サポートセンターでは、ご家庭や企業で不要となった食品を回収し、生活困窮者や福祉施設などにお渡りするフードドライブ活動を行っています。

現在コロナ禍で生活に困り、食料支援を必要とする方が市原にもたくさんいます。特におかずや乾麺が足りません。缶詰一つでも助かります。皆さまのご協力をお願いいたします。

【受付】月～金（祝日・年末年始除く）
9:00～17:30

【受付食品】米・麺類・缶詰などの保存食品・のりなどの乾物・調味料・食用油・飲料・インスタント食品・レトルト食品など。

注）賞味期限が2カ月以上で未開封。破損がなく、常温保存できるもの。

【問合せ】

いちほら生活相談サポートセンター

TEL：0436-37-3400

FAX：0436-37-2710



第12回千葉県障害者グループホーム大会

『誰もが、ありのままに地域で暮らす…

今、グループホームに出来ること』

グループホーム（以下GH）の制度創設から、今年で32年目となり、全国のGH利用者数は障害者支援施設入所者数を超えました。

「誰もがありのままに、その人らしく暮らす家」となるために、GHに出来ることは何かを改めて考えていきます。

今年度は、YouTubeでの動画配信となります。自宅や職場内でお時間のある時に、ぜひご視聴下さい。

【配信期間】令和3年2月1日(月)～2月15日(月)

【内容】基調講演「誰もがありのままに、地域で暮らす…支援の原点」 分科会1「地域と繋がるGHを創るために」 分科会2「GH従事者のメンタルケアWITHコロナ」 分科会3「多様生活探訪～一つじゃない、GHでの様々な暮らし方～」 分科会4「障害者GHとは？～サービス内容について知ろう～」

【参加費】無料

【申込方法】

chiba.ghw@gmail.comに ①氏名 ②住所 ③所属 ④電話番号 ⑤メールアドレスを送るか右記QRコードからお申込み下さい。指定したアドレスに動画URLが送られますので、期間内にご視聴下さい。



【問合せ】海匠ネットワーク 担当：林
TEL：0479-60-2578



「グループホーム入居者の声を聞いてみよう!!」④

今回は、知的障害を持つ70代男性です。本来は、65歳を過ぎているため介護保険制度の対象となりますが、この方は現在も住み慣れたグループホームでの生活を送っています。

Q、なぜ、グループホームへの入居を決めたのですか？

A、障害者支援施設で生活していた時、施設職員から「グループホームに入居してみませんか？」と誘われ、入居することにしました。当時入所していた施設は、個室が無かったこともあり自分だけの部屋があって、ゆっくりとした時間を過ごせるのがいいなと思いました。

Q、現在、グループホームではどのような生活を送っているのですか？

A、玄関の掃き掃除をすることが、毎朝の日課になっています。平日は、畑仕事や箱折りの作業に参加し、休日は散歩に出かけた先で、飲み物を買うのが好きです。昨年度は、職員や入居者全員で旅行しましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまい、残念です。

Q、今後の生活の希望はありますか？

A、今の生活をずっと続けたい。身体が元気なうちは、作業にも参加して身体を動かしたいです。

65歳前からグループホームを利用していたことや介護保険制度にないサービスであることから、障害福祉サービスの支給決定を出す市町村の判断により、グループホームの利用が可能となっています。これからも、住み慣れた場所で安心して生活していただきたいです。



旬の食材を使ったヘルシーメニュー

バレンタインやおやつにいかが♡

さつまいもとバナナのトリュフ風

(1人分：102Kcal)

材料(4人分) さつまいも 200g、熟したバナナ 1本、純ココア 10g、はちみつ 10g

- 作り方…① さつまいもは蒸して皮をむき、ボウルに入れてつぶす。
 ② ①にバナナを加えて滑らかになるまで混ぜる。
 ③ はちみつを加えて甘さ・固さを調整する。
 ④ 一口サイズに丸め、ココアをまぶして出来上がり。

栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「さつまいものビタミンCは加熱しても失われにくく、食物繊維もたっぷりです。熟したバナナは免疫活性作用が強く、免疫力を高める効果が期待されています。」

今回のレシピは、特別養護老人ホーム 高滝神明の里 管理栄養士 小谷成美様に提供していただきました。

いちほら福祉ネット活動報告

【会議等出席・開催状況(抜粋) R2/10/1～12/31】

- 10/13 中核地域生活支援センター大会 in 2020
- 10/15 特別支援学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会
- 10/17・11/21・12/19 ちはら台地区福祉総合相談
- 10/19・11/2・12/21 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議
- 10/24 市原市精神保健福祉オープンミーティング
- 10/26・11/4・11/18・12/16・12/23 意思決定支援アドバイザー
- 10/27・11/24・12/22 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 例会
- 10/27・11/26 司法と福祉の勉強会
- 10/29 市原市社会福祉協議会 理事会
- 10/29 市原市相談機関連絡会
- 11/13 市原地区保護司会・更生保護女性会合同自主企画研修会
- 11/13 いちほら健幸まちづくりプラン自殺対策ワークショップ
- 11/18 市原市成年後見制度利用促進審議会
- 11/19 市原市要保護児童対策地域協議会 代表者会議
- 11/27 市原市相談支援事業所連絡会「銀杏の杜」勉強会
- 12/1～12/10 市原市民生委員児童委員協議会(市内11地区)
- 12/1・12/21 市原市障がい者支援協議会 全体会・権利擁護部会
- 12/10・12/11 身体障害者相談員研修会

「中核地域生活支援センター大会 in 2020」が、インターネットでの動画配信という新しい形で行われました。実践報告「孤立を支える～居場所参加支援～」鼎談「ボクらが創る～地域共生社会へ～」など、中核センターで働く私たちにとって、これからの地域共生社会を考える良い機会になりました。集団で会議・研修開催は難しい状況ですが、様々な形で情報発信を続けたいと思います。

いちほら福祉ネットへの相談件数

(速報値)

令和2年10月～令和2年12月

延相談件数 1,986件(新規71件)

相談方法	対象者
電話 1,603件	高齢者 124人
訪問 277件	障害者 1,194人
来所 73件	児童 108人
個別支援会議 33件	その他 560人

令和2年度(4月～12月)

延相談件数 6,254件

編集後記



新年を迎えましたが、今年は新型コロナウイルスの影響でお正月のイベントも様々に変化しました。当センターの職員は、かるたやすごろくといった昔からある遊びを久しぶりに行ったところ、とても盛り上がり楽しめたと言っていました。今あるものを工夫しながら楽しんでいきましょう。(スタッフ一同)